



# シルバーだより

No. 293

平成 26 年 11 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

## シルバー大学で健康寿命をのばそう！

学長（今と昔の町歩き教室講師・健康体操教室講師） 望月公子

ムーブ町屋で催された荒川シルバー大学学園祭は、21 教科 1,500 人の参加を頂き大成功で終了しました。

どの教室にも特色があり、出品者の個性が輝いた展示で、お互いが刺激しあった 3 日間で来年の学園祭が楽しみです。会場は、熱気にあふれ「文化区荒川誕生！！」という雰囲気で大いに盛り上がっていました。

「わたし！今度はこの教室でやってみようかしら！」

「私は、毎年ひとつずつ教室を変えているけれど 30 教室もあると死ぬまでに終わりそうも無いわねー」「あら？私は、10 年以上ひとつ所よ！そんな浮気心じゃ駄目駄目！！」などと気の置けない仲間ならではの会話があちこちから聞こえた活気あふれる会場でした。



荒川区長様 荒川警察署長様をはじめ参観・出品いただいた多くの皆様にお礼申し上げます。人間いくつになっても、人との関わりを持ち続けたいものです。それが、尊敬できる人・共感でき会える人であれば良いのは勿論のこと、人生観が異なる人 趣味や出自の異なる人などから学ぶことは際限ありません。

だからこそ、今回の学園祭を始め 美術展 スポーツ 音楽会など様々な催し物に多くの人が足を運ぶのだと思った。そして、そこから得た刺激が脳に快感を起こすのではないのでしょうか。

荒川シルバー大学は、この脳の刺激を与え合う貴重な場であると考えています。現在高齢化社会で世界最先端を行く日本の課題は、長寿年齢ではなく健康年齢です。今、あなたが 80 歳ならば今までの生き方を力強く続けましょう！また、80 歳以下なら、先輩に学びつつ更なる飛躍に挑戦しましょう！

労働人口が減少する日本を支えるため 65 歳まで現役 70 歳まで就労 健康高齢者は社会福祉 という時代に遭遇したことは、私たちが大いに期待されて

いるということです。

8月に行ったシルバー大学2泊3日の研修旅行で、豊島区30名程のグループが同宿したそうです。その時参加した友人の言葉を紹介します。

「荒川シルバー大学は望月さんが行っている学校でしょう？素敵な人たちね！明るくて・仲が良く・サッパリしていて・いいなーっって皆で話しました。」

このように シルバー大学で学ぶことは、心・脳・体・友 を育てることに繋がっています。シルバー大学で、健康年齢を伸ばしましょう！！ 以上

## 朗読発表会を終えて

その日第四回目の発表会の最後に、シャボン玉を飛ばした。客席から小さなざわめき、私は心の中で”ワァヤッタ”と……

朗読教室は、来年で十年を迎え、その年月だけ先輩諸氏のお力を頂き、そして教室でも、学生の一人々々が力を出し合い楽しく学んでいます。

今回の発表会は浴衣を着て、シャボン玉をとばしたいと先生のお考えでしたが、学生に負担をかけさせるのではないか、又サンパールでしゃぼん玉を飛ばす事ができるのか、先生御自身悩まれたようでしたが、発表会の後でシルバー大学の皆様にとってもよい演出でしたと、そして教室の学生たちも毎年よくなっていると褒めの言葉をくださいました。素直に喜んでお受けしたいと思いません。

そして先生の冷や汗、学生の頑張り、雨情の生涯と童謡に懸ける心情、漱石の夢の中に不思議と怪しさ、強さ、そして最初と最後におきかせしました長田弘さんの”最初の質問”で”今日あなたは空をみあげましたか”

で始まり”あなたは言葉を信じますか”で終る。私自身言葉の大切さ、人に伝える難しさ、何気無い言葉で人を傷つけていないかと考えます。齢七十になり、朗読教室や自分史教室に通い、学びながら、学びえず、皆様に補っていただきながら毎日楽しい時間をすごしています。

最後になって申し訳ございません。

九月二十四日雨曇りの中、シルバー大学の大勢の皆様にご来場にお運びいただき有難う御座います。大切な思い出のひとつとなります。

シルバー大学の皆様の優しさに感謝しつつ

しゃぼん玉、丸く淡く消えてゆき  
何を残すや 人の心に



朗読教室 榎本節子

## 27年度の新教室紹介・・・『楽しい源氏物語教室』

文学博士 中山幸子

『源氏物語』は、日本が生んだ世界の文学です。なぜ世界の文学といえるのでしょうか。それは、『源氏物語』の作者紫式部が、ゲーテやダンテやシェークスピアと共に、1965年度の世界の偉人として、ユネスコから顕彰されたからです。現在は、『源氏物語』と呼んでいるが、紫式部は、『紫式部日記』の中で、『源氏の物語』と書いています。



『源氏物語』は大きく分けると正編と続編になります。正編は、光源氏を巡る女性達との愛の物語であり、続編は、源氏の子孫達の愛の物語です。『源氏物語』には多くの人達が登場します。三百余名ともいわれています。登場人物は、みな個性豊かに生き生きと描かれています。源氏を巡る女性達には、花に因（ちな）んだ葵上、夕顔、朝顔、末摘花、藤壺、紫上、花散里、軒端萩などがいます。その他にも、空蝉、朧月夜、六条御息所、女三宮など個性的な女性が登場します。

物語の主人公光源氏は、12歳で元服し、その夜のうちに、当代随一の権力者左大臣家の一人娘、葵上と結婚しました。が、源氏は、なぜ恋の遍歴へと旅立たなければならなかったのでしょうか。

さて、源氏は、3歳の時に実母と死別したので実母の面影すら知らないまま成長しました。ある時、宮中に仕えていた女性から、義理の母藤壺は、実母に生き写しであるということを知りました。源氏は、藤壺に実母のイメージを重ね合わせ、親しみを覚えて懐いておりました。やがて、源氏は成長と共に義理の母への感情は、異性への愛へと変化を遂げていたのです。一方、藤壺は、義理の母で有りながら、源氏に対する愛情が、母性愛から異性愛へと変わってしまったのです。源氏と藤壺は、義理の母子でありながら、二人の愛の行方はどうなるのでしょうか。

この『楽しい源氏物語』講座では、人生経験豊かな皆様方と一緒に、楽しく語り合いながら、『源氏物語』を読み解いていきたいと思っております。

### ・・・「楽しい源氏物語教室」説明会・・・

日時：11月6日（木）午前10時～12時 会場：第一会議室（生涯学習センター）

在学生以外の方でも結構です。どうぞ、お楽しみに！

## 平成26年度学園祭を振り返って

荒川シルバー大学学園祭が10月24日～26日の3日間に亘って開催されました。3日間ともお天気に恵まれて、1,500余名の方々にお出で頂き、観覧して頂きました。これは過去最高の参加者数になります。(観覧して頂いた一般のお客様も過去1番でした。)

これもひとえに、学生一同の情熱と向学心によるものだと確信いたしました。そして受付・展示・照明等の作業でお力を頂いた方、並びに各教室の展示当番に当たられた方々のご努力に感謝申し上げます。

そして、今年は展示の開始時間・展示を撤収する時間帯・指示通りに守っていただきました。亦、ムーブ町屋のホール担当のスタッフの方々に多大なご協力を頂き、助かりました。

「今年は更に大変素晴らしい作品群でした」と、多くの方々のお褒めの言葉も頂きました。学園祭が事故無く無事に進行出来、終了した事、学生さん並びに各教科の先生方のご努力に感謝申し上げます。 実行委員長 宮澤健一

### ・・・11月の教室授業一般公開のお知らせ・・・

11月に限り、各教室の授業をどなたでも見学できます。来年度の申込の参考にしてください。但し、日程・会場に変更のある場合がありますので、事前に事務局にお問い合わせの上ご見学ください。 ☎3801-5740まで

### ◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (10 月) ◆◆◆◆

7日	常任理事会・役員会 (学園祭他)	24-26	学園祭 ムーブ町屋3・4F
		26日	学園祭 ポスター取り外し(有志)
13日	都電ポスター貼り(広報部)	28日	広報部編集会議
14日	広報部編集会議	30日	シルバーだより 293号作成

### ※ 事務局だより ※

- 11月の教室変更のお知らせ  
音楽教室：8日(土)午後1時～、15日(土)午前10時～となります。
- 27年度の学園祭について  
期日：10月23・24・25日、会場：ムーブ町屋です。  
(事務所) TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691  
(メールアドレス) [arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp](mailto:arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp)



室長・田原